

質問 <b>地域漁業の振興について</b>	答弁	答弁者
<p><b>(1) 漁業就業者の動向について</b></p> <p>北海道は人口減少に悩む漁村が多く、少子化による小中学校の統廃合、高校の募集停止、高齢化ゆえに必要な医療の確保がままならないなど定住環境の整備が急務である。こうした課題は、基幹産業となっている漁業振興とともに漁村地域に共通する社会問題である、知事公約でもある「地域を守る」ということから、早急に取り組むべきと考えるが、地域漁業の振興に向けた道の考え方や、地域漁業の振興、漁村地域の活性化にも重要な役割を担っている水産普及指導事業などについて、いくつか伺う。</p> <p>近年は全道的には3万3千人程度で、毎年減少していると承知している、地域別に見るとどのような状況になっているのか伺う。</p>	<p>(1)平成20年の漁業センサスより、全道の漁業就業者は、33,568人で、そのうち、太平洋地域は18,462人、オホーツク海地域は5,447人、日本海地域は9,659人となっている。平成10年に較べ全道の漁業就業者は2%の増となっており、太平洋地域及びオホーツク海地域が増加しているのに対し日本海地域は17%の減となっている。</p>	水産経営課長
<p><b>(2) 減少の大きい地域の要因について</b></p> <p>日本海地域での減少が大きいとのことだが、減少の要因をどのように考えているのか伺う。</p>	<p>(2)日本海地域は、スケトウダラ、イカなど回遊性魚類への依存度が高く、これら資源の減少により生産量が低迷していること、さらには、磯焼けが進んでいることなどから、日本海地域の漁業者一人当たりの生産額は、太平洋地域の2分の1、オホーツク海地域の4分の1と漁業の生産性が低く、漁業経営を取り巻く環境が厳しい状況にあり、他の地域と比べて新規就業者が少なく、漁業就業者の減少が大きいものと考えている。</p>	産経営課長
<p><b>(3) 地域の特性に応じた資源づくりについて</b></p> <p>日本海海域の漁業者が厳しい状況、原因は磯焼けなどあるとの回答で、これは皆が承知していることです。就業者を定着・増加させていくため、ひいては、地域を守るためには、漁業で安定した生計が維持できるような資源づくりが重要だ。しかし、現実には漁業者が少ない地域での水産基盤整備などの事業の実施が難しいなどの問題があると聞く。漁業者が少なく、後継者が不足し、水揚げの少ない地域でも、豊かな漁場を整備したり、種苗放流事業などを安定的に継続していけば、後継者も確保され、生産も向上すると考えるが、日本海地域の課題である「磯焼け対策」や「</p>	<p>(3)生産が低迷している日本海地域の漁業振興を図るためには、産卵礁や藻場などの漁場づくりを計画的に実施していくとともに、ニシンやヒラメの種苗放流など海域の特性に応じた資源づくりを推進していくことが重要であり、道としては、試験研究機関や漁業関係者などと連携して、海藻群落の形成を目的とした栄養塩の添加、ウニの除去など、地域にあった様々な磯焼け対策や漁業者から期待の大きいナマコ種苗の生産から放流、管理の一貫した技術の開発に努めている。また、来年度からスタートする漁港漁場整備長期計画で、海域の生産力を底上げするため、産卵場や稚魚の餌場となる藻場の良好な生</p>	水産局長

<p>漁場づくり」など地域の特性に応じた資源づくりについて、試験研究も含め、力を入れるべきと考えるが見解を伺います。</p>	<p>息環境の一体的な整備を積極的に進め考え。</p>	
<p><b>(4) 普及活動課題について</b>      今後は受益に偏重することなく、海域での整備という観点をさらに重視してください。次に、水産普及指導業務について、何点か伺う。      就業者の減少が止まらない地域での普及指導業務は、漁場づくりや漁業振興施設整備などハード事業を支えるソフト面の取り組みとして大変重要と考える。最初に、普及員が取り組んでいる普及活動課題にはどのようなものがあるのか、特に漁業就業者の減少や高齢化が進行している地域では、どのような課題に取り組んでいるのか伺う。</p>	<p>(4)水産技術普及指導所では、増養殖技術や資源管理技術のほか、担い手育成、漁業経営、漁場環境保全に関する課題など、多岐にわたる普及指導業務を行っている。特に漁業生産が低迷し、漁業就業者が減少している日本海地域においては、道総研水産試験場と連携し、ヒラメやニシンの放流技術や資源管理技術の普及、地域漁業者と連携したナマコの資源増大などを重点課題として取り組み、漁業経営の安定に努めているところ。</p>	<p>研究普及担当課長</p>
<p><b>(5) 得られた成果の普及について</b>      普及課題に取り組んだ成果を漁業者などに対して着実に普及させていくことが大切なことと考えますが、道では、得られた成果の普及について、どのような取り組みを行っているのか伺う。</p>	<p>(5)漁協のほか、栽培漁業や資源管理に取り組む漁業者の部会や青年・女性グループに対して、ホタテ養殖やナマコ資源管理などの研修会を行っているほか、巡回指導を通じて、地域漁業振興の中核を担う漁業士をはじめ、個々の漁業者に対しても直接技術指導を行っている。また、広域的に普及が必要なホタテガイ浮遊幼生を簡易に判別する技術などについては、昨年度から配置された海域を統括する総括普及指導員が中心となり、道総研水産試験場などと連携して、これまで以上に浜で活用されるよう努めている。</p>	<p>研究普及担当課長</p>
<p><b>(6) 水産普及指導員の知識や技術の向上について</b>      実際の現場で指導にあたる普及員は、幅の広い知識や専門的な技術を習得しておく必要があると考えるが、普及員の知識や技術の向上のため、道では、どのような取り組みを行っているのか伺う。</p>	<p>(6)道独自に、資源解析や経営分析などの研修を実施するほか、より高度な技術や知識を習得するため、道総研水産試験場に長期派遣する特別研修等を実施している。さらに、国が年2回開催する全国規模の研修や東北各県と持ち回りで開催するブロック研修に参加するなど、道と国の研修に、昨年は延べ59名が参加しており、普及指導員の知識や技術の向上に努めている。</p>	<p>首席普及指導員</p>
<p><b>(7) 次に水産普及指導員の職員数について伺う。</b>      水産関係の現場では、道行政との連携・サポートが不可欠であります。今年6月から、水産基盤整備事業の事務が本庁に集約され、渡島及び檜山の振興局の水産課職員が合</p>	<p>(7)渡島・檜山管内においては、ホタテガイやコンブ養殖における付着物被害の軽減のほか、漁業者の期待が大きいナマコの資源管理や増殖などの技術を普及し、漁業の生産性の向上を図るため、6事務所を配置し、それぞれの</p>	<p>水産基盤整備担当局長</p>

<p>計で4名減員となった。また、平成22年度に統合された渡島中部地区水産技術普及指導所でも1名減員となった。さらに渡島管内の水産技術普及指導所の過去の経過を見ると、平成18年度には、4事務所21人体制だったものが、5年後の平成23年度には、3事務所17人体制となっている。行革方針もあるのですが、とりわけ就業者の減少が止まらない渡島、檜山地区は、ホタテや昆布の一大養殖地帯である噴火湾など特殊な事情も抱えていることから、職員数においても手厚い対応が必要ではないか。また、これまでの組織体制の見直しについて、水産関係団体への説明等は十分行われたのか伺う。</p>	<p>普及課題に対応する普及指導員26名を配置している。これまで、組織体制の見直しにあたっては、担当者が直接現地に赴き、関係市町村や漁協に説明を行い、理解を得ながら進めてきた。</p>	
<p><b>(8) 地域漁業の振興について</b>  手厚い対応の要請に対してははっきりと対応するとはお答えいただけませんでしたので、部長にお聞きすることになります。漁業就業者の減少に悩む地域の実態や資源づくりに対する道の取り組み、さらには水産普及指導業務について伺ってきましたが、最後に、地域漁業の振興、とりわけ就業者の減少により厳しい漁業環境が続いている地域における漁業振興、それに対応する普及指導体制に対する部長の考えをお聞きして質問を終わります。</p>	<p>(8)日本海海域などでは、漁業生産の低迷や就業者の減少など大変厳しい漁業環境にあり、基幹産業である漁業の振興が地域の活性化にとって喫緊の課題と考えている。このため、漁場の整備やニシンの種苗放流事業など栽培漁業による資源づくり、さらには、漁村地域を支える担い手の育成などに積極的に取り組むとともに、これらにきめ細かく対応できる普及活動の充実を図るなど漁村や漁業の活性化に努めてきたところ。私としては、日本海など厳しい状況の地域もありますが、浜はまだまだ元気であると思っており、漁業が将来にわたって、希望と誇りを持って取り組める魅力的な産業となり、また本道の漁村が、活力を持ち続けられるよう、生産性の向上と人材の育成に重点を置きながら、漁業の振興にしっかりと取り組んでまいりたい考え。</p>	<p>水産林務部長</p>
<p>部長から、普及活動の充実を図るとの答弁も頂き、ほっとしています。国の事業仕分けで、指摘を受け、普及指導のあり方研究会が8月に見直し結果を取りまとめました。この中にも普及指導の機能強化が盛り込まれ、普及指導員数に応じて交付金を算出し、配分する方法に変更することも盛り込まれています。農政部とも連携してこの見直し結果により、行革にも対峙して取り組んでいただきますようお願いして、私の質問を終わります。</p>		